

日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

令和4年度 医療機関別係数について ～機能評価係数Ⅱ（令和4年4月1日現在）の内訳～ 解説資料

作成：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4310号 山岸義彦
 編集：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美



● ● 県

資料:20221210-1210(00)

全国47都道府県の資料をそろえています

本資料は、2022年6月1日の中医協総会の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます

機能評価係数Ⅱ、地域医療係数共に、実数値の他に偏差値を用いて係数を比較することが出来るため、病院群毎の全体における自院の立ち位置が把握できます。

各病院群毎、DPC標準病院群は2次医療圏毎にDPC対象病床数の降順で病院名を表記しており、同規模病院同士の比較が容易にできます。

地域医療係数は、「体制評価」「定量評価（小児）」「定量評価（小児以外）」の3つの指標に分解してグラフ化しており、より詳細に状況を把握できます。

昨年度のデータも併記しているため、病院毎の経時的な変化を把握することが出来ます。

機能評価係数Ⅱの内訳（係数）と地域医療係数の内訳（係数）の横棒グラフの最高値の設定を、二次医療圏域ごとに設定しているため、地域内での自院の座標値が確認できます。

こちらの資料は、日医工にてDPC評価分科会が公開したデータを基に、エリアごとに掲載しています。病院名を掲載しているため、Stu-GEサイト内ではダウンロード用資料は掲載しておりません。

もし、ご興味いただきましたら、担当MRにご請求いただくか、Stu-GEサイト最下にあります「お問い合わせ」をクリックいただき、[「お問い合わせフォーム」](#)より資料をご請求ください。日医工MRが資料をお届けいたします。



「お問い合わせフォーム記入例」

お問い合わせ内容：「厚労省・厚生局データのご請求」を選択

資料の対象都道府県：「〇〇県」

お問い合わせ本文：「1210 令和4年度 医療機関別係数について～機能評価係数Ⅱ（令和4年4月1日現在）の内訳～」

*本資料は、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

《グラフについて》

- 評価対象期間：令和2年10月～令和3年9月
- 医療機関群毎の評価：保険診療指数、複雑性指数、カバー率指数、地域医療指数
医療機関群共通の評価：効率性指数、救急医療指数
- グラフ等は都道府県または二次医療圏（北海道は三次医療圏）毎に令和2年度DPC公開資料によるDPC算定病床数降順に記載しています。
- ㊦は大学病院本院群、㊧はDPC特定病院群、㊨はDPC標準病院群です。
- 表示スペースの関係上、医療機関名は原則10文字以内に省略しています。
- レーダーチャート（偏差値）の最低値は「0」、最高値は「100」に設定しています。（外れ値への対応）
グラフの 内の数値は令和4年度の偏差値です。
- 機能評価係数Ⅱの内訳（係数）と地域医療係数の内訳（係数）の横棒グラフは、病院群ごとに各項目の最高係数を最高値として設定しています。
- 地域医療指数（体制評価指数）の内訳グラフの最高値は、他の地域との比較をしやすいするため原則9ポイントに設定していますが、9ポイントを超える施設がある場合はグラフの最高値を変更しています。（全国に3施設）

《レーダーチャートに大きな変動がある病院の理由として考えられるもの》

- 群間移動した病院（偏差値は表示した各年度の医療機関群で計算）
- 保険診療係数で減算のあった医療機関（他の多くの病院が最大値の係数の為、偏差値表示では大きな変動）
- 新型コロナウイルス感染症患者等受け入れ医療機関への補正の影響

* 本資料は、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

大学病院本院群

大学病院本院群、DPC特定病院群、DPC標準病院群ごとに集計（一部大学病院本院群とDPC特定病院群をまとめて表記）しており、DPC標準病院群は二次医療圏単位で分類しています。

- 棒グラフで表記することで、自院の係数獲得状況を視覚的に捉えることができます。
- 棒グラフの最高値を二次医療圏ごとに設定しているため、二次医療圏エリア内での自院の立ち位置が確認でき、病床数の降順で並べて表記しているため、近隣同規模病院と比較しやすい資料になっています。
- 各係数毎に縦軸で比較することができ、係数から各病院の特性を読み取ることができます。
（例 効率性係数が高い = 各疾患毎にベッドコントロールができており、他の病院より在院日数が短い傾向がある等）

施設名	DPC算定病床数(2020)	保険診療係数	効率性係数	複雑性係数	カバー率係数	救急医療係数	地域医療係数	機能評価係数Ⅱ 合計*
①	869	0.01763	0.01771	0.01895	0.01564	0.00821	0.01192	0.09010
①	832	0.01763	0.02398	0.01610	0.01559	0.00709	0.01354	0.09390
①	576	0.01763	0.02372	0.02371	0.01296	0.01444	0.03342	0.12590
①	670	0.01762	0.02405	0.01452	0.02072	0.01658	0.02072	0.11420
①	634	0.01762	0.02659	0.01305	0.01973	0.02825	0.01978	0.12500

* : グラフの最高値は、各都道府県の最も高い係数を設定

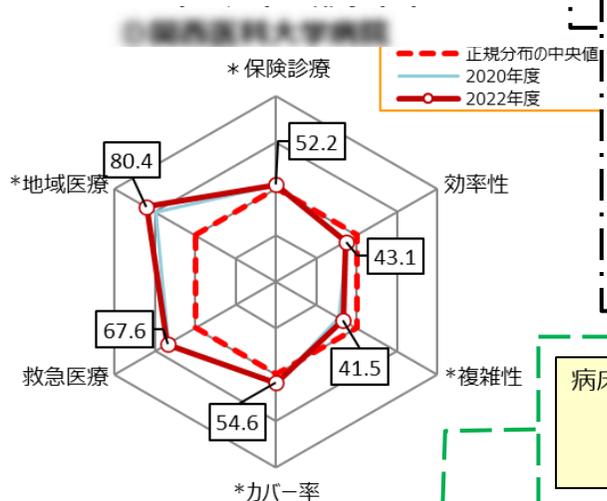
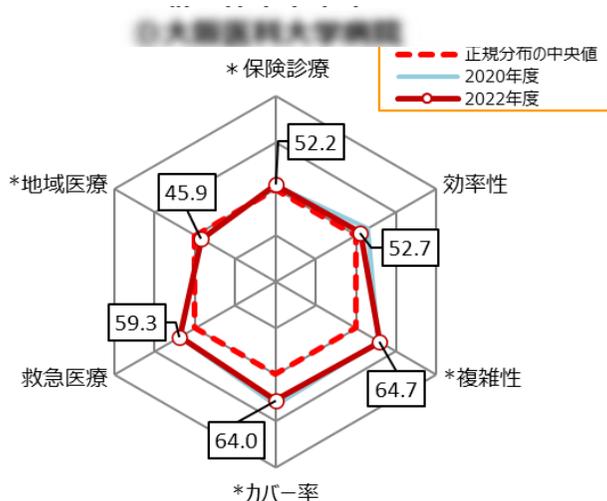
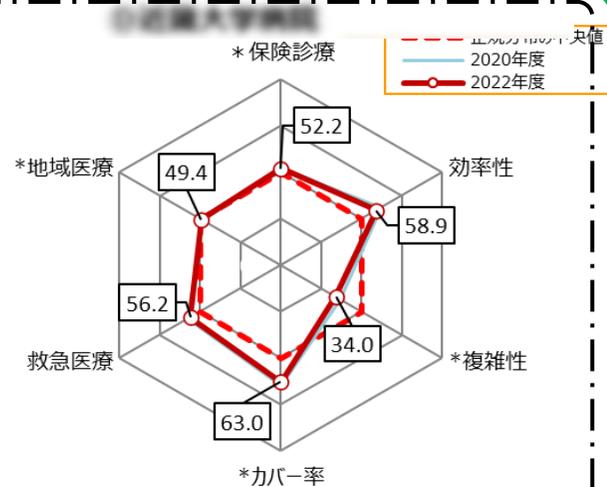
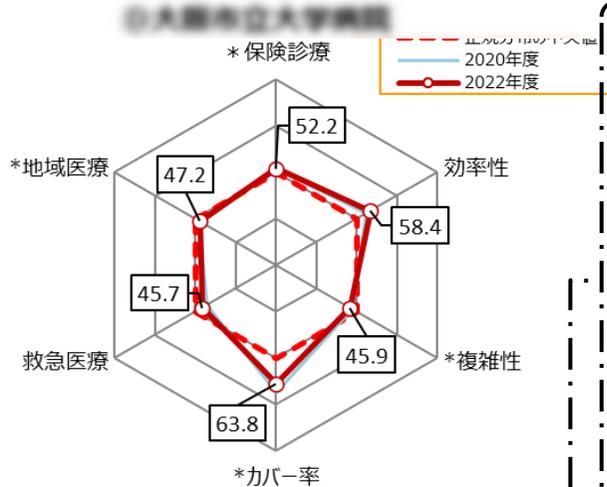
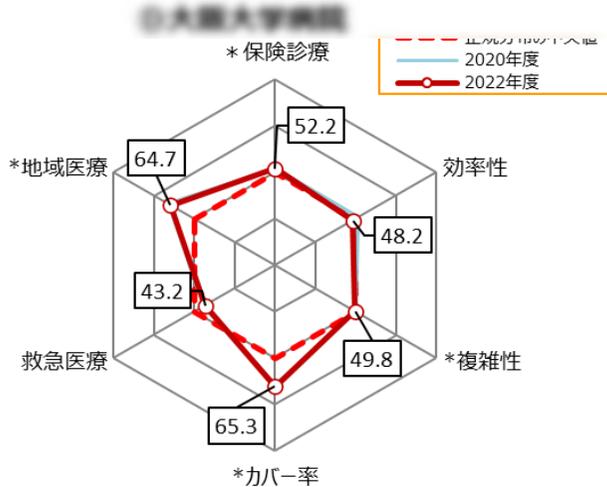
DPC対象病床数の降順で記載しているため、同規模病院との比較がしやすくなっています。

- ① = 大学病院本院群
- ① = DPC特定病院群
- ① = DPC標準病院群

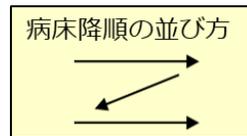
* 本資料は、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

大学病院本院群

大学病院本院群、DPC特定病院群、DPC標準病院群（一部大学病院本院群とDPC特定病院群をまとめて表記）毎に集計しており、DPC標準病院群は二次医療圏単位で分類しています。



・係数を偏差値で表記することで、全国的（*各群毎）な比較が容易になります。
 ・昨年度のデータ、今年度の中央値をグラフ上に一緒に表記することで、病院毎の状況が経時的に確認でき、係数ごとに全国的（*各群毎）な立ち位置が確認できます。



各病院群毎にDPC対象病床数の降順で表記しています

*本資料は、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

DPC標準病院群

大学病院本院群、DPC特定病院群、DPC標準病院群（一部大学病院本院群とDPC特定病院群をまとめて表記）ごとに集計しており、DPC標準病院群は二次医療圏単位で分類しています。

- ・地域医療係数の数値を、「体制評価」「定量評価(小児)」「定量評価(小児以外)」毎に棒グラフ表記し、合計も別途グラフで表記しており、各項目ごとの比較もできます。
- ・体制評価とは、5疾病5事業といった地域で必要とされている医療を提供しているかを評価するものです。
- ・定量評価とは5疾病5事業における地域の患者数をどれだけの数を診ているかを評価するものです。

施設名	DPC算定 病床数 (2020)	体制評価係数	定量評価係数 (小児)	定量評価係数 (小児以外)	地域医療係数(合計)
④	291	0.01078	0.01429	0.00788	0.03294
④	214	0.00647	0.00484	0.00536	0.01666
④	104	0.00485	0.00061	0.00419	0.00965
④	86	0.00423	0.00052	0.00219	0.00694

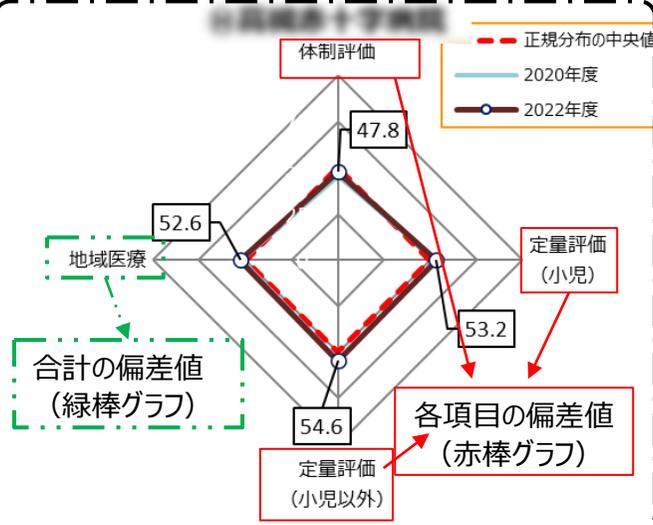
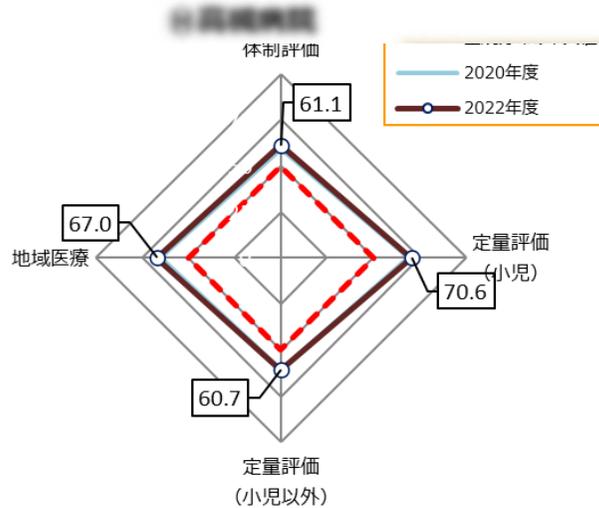
DPC対象病床数の降順で記載しているため、同規模病院との比較がしやすくなっています。

- ④ = 大学病院本院群
- ④ = DPC特定病院群
- ④ = DPC標準病院群

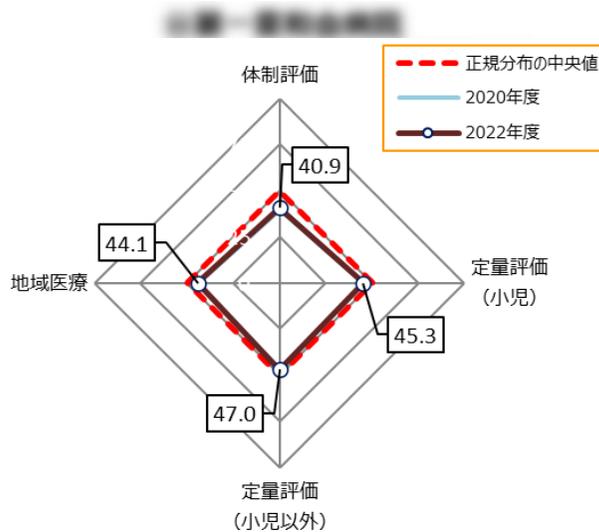
*本資料は、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

DPC標準病院群-A医療圏

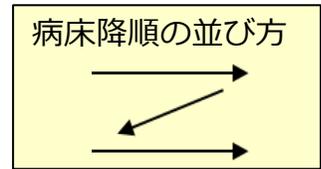
大学病院本院群、DPC特定病院群、DPC標準病院群ごとに集計しており、DPC標準病院群は二次医療圏単位で分類しています。



・偏差値を用いて昨年度のデータ、今年度の中央値をグラフ上に一緒に表記することで、病院毎の状況が経時的に確認でき、評価ポイント毎に全国的な立ち位置を容易に視覚的に確認できます。



各病院群毎にDPC対象病床数の降順で表記しているため、同規模病院との比較が容易にできます。



*本資料は、日医工(株)が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

参考資料

名称	評価の考え方
保険診療係数	適切なDPCデータの作成、病院情報を公表する取組み、保険診療の質的改善に向けた取組み（検討中）を評価
地域医療係数	地域医療への貢献を評価
効率性係数	各医療機関における在院日数短縮の努力を評価
複雑性係数	各医療機関における患者構成の差を1入院あたり点数で評価
カバー率係数	様々な疾患に対応できる総合的な体制について評価
救急医療係数	救急医療の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価

令和4年度診療報酬改定の概要（DPC制度関連部分）より抜粋

* 本資料は、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。